



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 イビデン株式会社

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹中 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	208,786	△2.8	4,492	△53.7	7,869	14.3	2,267	29.0
24年3月期第3四半期	214,737	△3.4	9,695	△62.5	6,884	△71.3	1,758	△85.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 11,181百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △7,499百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	16.16	16.05
24年3月期第3四半期	12.29	12.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	424,333	275,014	63.7	1,958.82
24年3月期	425,871	274,901	63.4	1,885.53

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 270,494百万円 24年3月期 269,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	282,000	△6.3	6,500	△58.1	5,900	△63.7	300	△97.2	2.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	150,860,557 株	24年3月期	150,860,557 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	12,770,337 株	24年3月期	7,769,826 株
----------	--------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	140,312,736 株	24年3月期3Q	143,091,239 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足元では円高修正の局面が続き、景気回復への期待感が高まりつつあるものの、依然先行きは不透明な状況であります。また欧州経済の減速や新興国の成長鈍化に伴う輸出の停滞など、企業を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット型携帯端末の新製品が続々と投入され成長は持続しておりますものの、企業間競争は激しさを増すなど、市場は急速に変化しております。また、これら製品の台頭を受け、パソコン市場は長期低迷を余儀なくされております。

自動車排気系部品業界におきましては、北米市場は堅調に推移しているものの、欧州市場の低迷、中国の成長鈍化を背景に、先行きはなお流動的であります。

このような情勢のもと、当社グループでは連結中期経営計画「Global IBI-TECHNO 100 Plan」の最終年度にあたり、事業の構造改革を積極的に進めております。具体的には、成長が見込まれる市場に経営資源を集中的に投入するとともに、グローバルな最適生産・販売体制の構築を加速させております。一方、市場の急激な変化に対応し、生産調整や投資の圧縮、諸費用の削減など緊急対策を実施するとともに、独自の自主改善活動を全社で展開し、ロス改善を軸とした収益基盤の向上に努めております。

これらの結果、当第3四半期の売上高は2,087億86百万円と前年同期に比べ、59億51百万円(2.8%)減少いたしました。営業利益は44億92百万円と前年同期に比べ52億円3百万円(53.7%)減少し、経常利益は78億69百万円と前年同期に比べ9億85百万円(14.3%)増加しました。四半期純利益は、22億67百万円と前年同期に比べ5億9百万円(29.0%)増加いたしました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

プリント配線板は、韓国・台湾企業との競争激化に伴い販売価格が下落しているなか、スマートフォンやタブレット型携帯端末向け製品の受注が好調に推移したことにより、売上は増加しました。

小型・薄型パッケージ基板は、スマートフォンやタブレット型携帯端末市場が好調に推移し、また高付加価値製品の比率が高まったことから、売上増となりました。

高機能・多層パッケージ基板は、パソコン市場の長期低迷に伴う在庫調整が進んだことにより、売上減となりました。

以上により、電子事業の売上高は、1,184億40百万円となり、前年同期に比べ3.5%減少しました。同事業の営業利益は13億72百万円となり、前年同期に比べ52.0%減少しました。

セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、主力の欧州ディーゼル乗用車市場が停滞したことにより、売上減となりました。

触媒担体保持・シール材は、円高の影響はあったものの、北米向け需要の好調もあり、売上は微増しました。

特殊炭素製品は、太陽電池市場の低迷が長期化していることに加え、半導体業界も振るわず、シリコン製造装置用部材の受注が低迷したことにより売上減となりました。

以上により、セラミック事業の売上高は、537億65百万円となり、前年同期に比べ3.4%減少しました。同事業の営業利益は12億22百万円となり、前年同期に比べ75.8%減少しました。

建材事業

メラミン化粧板は住宅着工数が持ち直すなど市況が回復に向かい、売上は微増となりました。

住宅設備機器は、既存顧客向け資材の販売が依然低迷しているものの、新規事業の拡販に努め、売上増となりました。

以上により、建材事業の売上高は、156億18百万円となり、前年同期に比べ4.6%増加しました。同事業の営業損失は3億58百万円(前年同期は4億79百万円の営業損失)となりました。

建設事業

法面工事部門は、法面の全面緑化を可能にする独自工法の採用が進み、受注・完工ともに増加した結果、売上増となりました。

造園工事部門は、民間の大型工事案件がなく、売上は微減となりました。

以上により、建設事業の売上高は、66億77百万円となり、前年同期に比べ3.2%増加しました。同事業の営業利益は7億65百万円となり、前年同期に比べ4.7%増加しました。

その他事業

合成樹脂加工部門は、電子機器向け発泡樹脂製品の需要が減速したことにより、売上減となりました。

情報関連サービス部門は、医療向けソフトウェアの受注が増加し、売上増となりました。

以上により、その他事業の売上高は、142億84百万円となり、前年同期に比べ4.4%減少しました。同事業の営業利益は3億92百万円となり、前年同期に比べ49.7%減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15億37百万円減少しました。主な増減としては、たな卸資産が88億62百万円増加し、現金及び預金が182億97百万円、受取手形及び売掛金が62億8百万円、有価証券42億61百万円それぞれ減少しております。

負債では、未払金が27億81百万円、未払法人税等が12億20百万円の増加、支払手形及び買掛金が75億11百万円、設備関係支払手形が25億73百万円減少しております。また純資産は、自己株式の増加や為替調整勘定の増加などにより1億13百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,960	59,663
受取手形及び売掛金	58,097	51,888
有価証券	27,194	22,932
商品及び製品	14,083	16,444
仕掛品	8,327	11,354
原材料及び貯蔵品	13,408	16,882
繰延税金資産	2,107	2,049
その他	10,884	10,597
貸倒引当金	△423	△306
流動資産合計	211,639	191,506
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	68,107	73,328
機械装置及び運搬具（純額）	58,258	68,640
土地	17,904	18,215
リース資産（純額）	2,376	2,206
建設仮勘定	27,022	21,674
その他（純額）	4,208	4,240
有形固定資産合計	177,878	188,307
無形固定資産	5,286	11,333
投資その他の資産		
投資有価証券	25,070	25,803
長期貸付金	43	51
繰延税金資産	3,953	5,413
その他	2,400	2,308
貸倒引当金	△399	△391
投資その他の資産合計	31,067	33,186
固定資産合計	214,232	232,827
資産合計	425,871	424,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,613	43,101
短期借入金	18,716	18,629
未払金	13,363	16,144
未払法人税等	858	2,079
繰延税金負債	23	17
賞与引当金	3,623	1,400
役員賞与引当金	113	—
設備関係支払手形	3,987	1,414
その他	9,202	12,664
流動負債合計	100,502	95,451
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	5,021	5,592
リース債務	1,003	847
再評価に係る繰延税金負債	157	157
退職給付引当金	237	365
役員退職慰労引当金	661	605
繰延税金負債	1,837	4,517
その他	1,548	1,782
固定負債合計	50,468	53,867
負債合計	150,970	149,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	68,331	68,354
利益剰余金	184,000	182,298
自己株式	△30,641	△37,106
株主資本合計	285,842	277,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,483	3,546
繰延ヘッジ損益	△27	△3
土地再評価差額金	71	71
為替換算調整勘定	△18,567	△10,819
その他の包括利益累計額合計	△16,040	△7,205
新株予約権	1,281	932
少数株主持分	3,817	3,587
純資産合計	274,901	275,014
負債純資産合計	425,871	424,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	214,737	208,786
売上原価	167,571	169,074
売上総利益	47,166	39,711
販売費及び一般管理費	37,470	35,219
営業利益	9,695	4,492
営業外収益		
受取利息	238	241
受取配当金	509	518
負ののれん償却額	2	—
為替差益	—	2,293
補助金収入	—	995
その他	525	621
営業外収益合計	1,276	4,669
営業外費用		
支払利息	222	331
設備賃貸費用	14	9
持分法による投資損失	83	—
為替差損	3,103	—
休止固定資産減価償却費	—	371
その他	663	579
営業外費用合計	4,087	1,292
経常利益	6,884	7,869
特別利益		
固定資産売却益	69	76
負ののれん発生益	—	100
投資有価証券売却益	—	3
補助金収入	36	—
新株予約権戻入益	379	415
その他	0	—
特別利益合計	485	596
特別損失		
固定資産除却損	315	166
減損損失	163	6
投資有価証券評価損	433	2
関係会社整理損	—	2,894
その他	40	28
特別損失合計	952	3,099
税金等調整前四半期純利益	6,417	5,366
法人税等	4,503	3,010
少数株主損益調整前四半期純利益	1,914	2,356
少数株主利益	155	88
四半期純利益	1,758	2,267

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,914	2,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,845	1,053
繰延ヘッジ損益	20	24
土地再評価差額金	22	—
為替換算調整勘定	△7,610	7,747
その他の包括利益合計	△9,413	8,825
四半期包括利益	△7,499	11,181
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,646	11,102
少数株主に係る四半期包括利益	147	78

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	122,722	55,674	14,925	6,468	199,791	14,946	214,737
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	30	25	21	10,317	10,394	5,001	15,396
計	122,753	55,700	14,946	16,785	210,186	19,948	230,134
セグメント利益又は損失(△)	2,856	5,043	△479	731	8,153	780	8,934

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,153
「その他」の区分の利益	780
セグメント間取引消去	△4
全社費用及び利益(注)	766
四半期連結損益計算書の営業利益	9,695

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては163百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	118,440	53,765	15,618	6,677	194,501	14,284	208,786
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15	74	3	7,866	7,960	1,569	9,529
計	118,455	53,840	15,621	14,544	202,461	15,854	218,316
セグメント利益又は損失(△)	1,372	1,222	△358	765	3,002	392	3,395

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,002
「その他」の区分の利益	392
セグメント間取引消去	203
全社費用及び利益(注)	893
四半期連結損益計算書の営業利益	4,492

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「セラミック」セグメントにおいて、Porzellanfabrik Frauenthal GmbH (現社名 Ibiden Porzellanfabrik Frauenthal GmbH) の株式取得による子会社化に伴い、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、4,156百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第3四半期連結累計期間において、平成24年8月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,000,000株を取得いたしました。これにより自己株式が6,463百万円増加しております。

(6) 重要な後発事象

特記すべき事項はありません。